

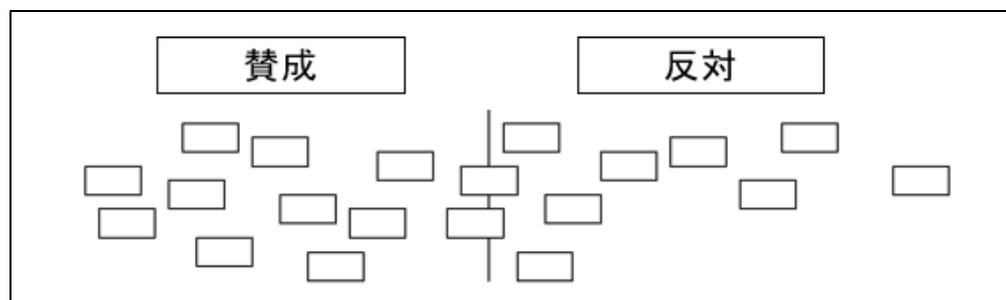
<アイデア>

公民的分野 「B(1)ア(イ)」 (市場経済)

現代日本の労働環境の変化と課題についての知識を活用して、外国人労働者の受け入れの是非について、多面的・多角的に考察し、よりよい社会の在り方について表現するアイデア

【学習問題】

今後、日本ではさらに外国人労働者を受け入れていくべきでしょうか。



立場	長所	短所
日本全体	○労働力不足を補う ○経済が発展する	●完全失業率が上がる ●異文化問題が発生する
日本の企業	○優秀な人材を確保できる ○賃金を抑えられる	●労働環境作りにお金がかかる ●労働条件の改善が遅れる
日本人労働者	○異なる文化を知ることができる ○発想が豊かになる	●働く機会が減る

本單元に関する学習指導要領の内容 公民的分野「B(1)ア(イ)」(市場経済)

B 私たちと経済

(1) 市場の働きと経済

対立と合意，効率と公正，分業と交換，希少性などに着目して，課題を追究したり解決したりする活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識を身に付けること。

(イ) 市場経済の基本的な考え方について理解すること。その際，市場における価格の決めり方や資源の配分について理解すること。

イ 次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。

(ア) 個人や企業の経済活動における役割と責任について多面的・多角的に考察し，表現すること。

(イ) 社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について多面的・多角的に考察し，表現すること。

＜本アイデアのポイント＞

- ・外国人労働者の受け入れの是非について、誰にとってどんな長所・短所があるかを学級で考察します。多面的・多角的に捉えた上で、自らの考えを再構成することで、よりよい社会の在り方について表現する力を育成することが期待できます。

ネームプレートで賛否の意思を示すことで、自らの立場を明確にし、自分事として考えることにつながりますね。



【展開例】

- ①二つの資料から読み取れることを考える。
- ②初めの考えを、黒板にネームプレートで示す。
- ③長所と短所を考察し、発表し合う。
- ④話し合った後の考えをネームプレートで示す。
- ⑤個人の考えをまとめる。

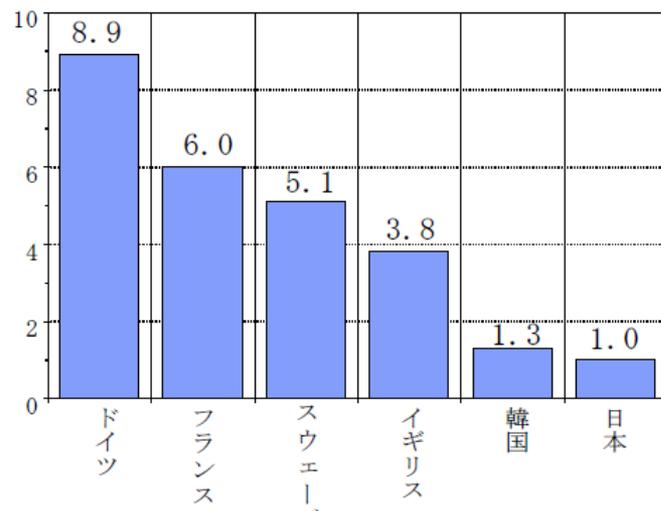
展開① 二つの資料から読み取れることを考える。

準備物

- 図「外国人労働者の比率の国際比較」
- 図「外国人労働者の推移」

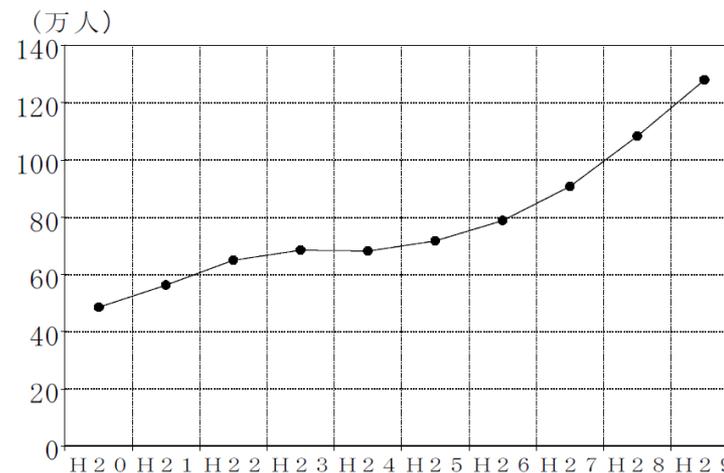
日本は6か国中最も低い

図1 外国人労働者の比率の国別比較



日本の外国人労働者は年々増加している

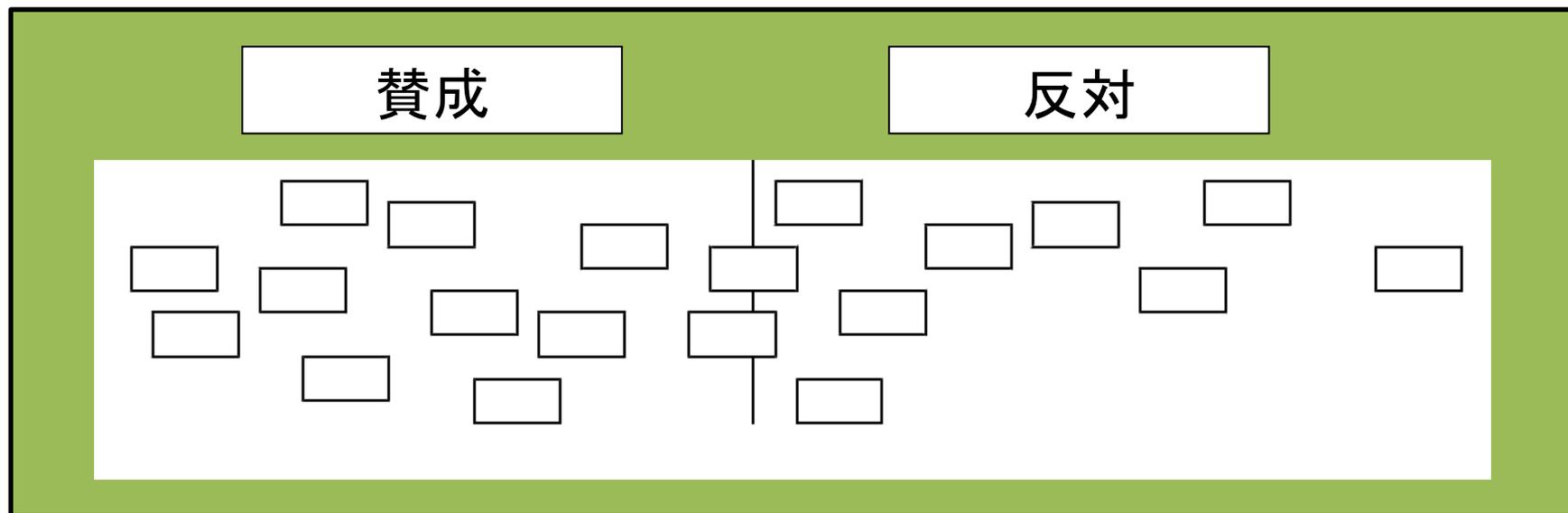
図2 外国人労働者の推移



これからも外国人労働者は増加していくと予想されるが…。

展開② 初めの考えを，黒板にネームプレートで示す。

<初めの考え>



立場によって考え方も変わってくるんじゃないかな。



長所と短所をそれぞれ考えないと結論は出せないぞ。

展開③ 長所と短所を考察し，発表し合う。

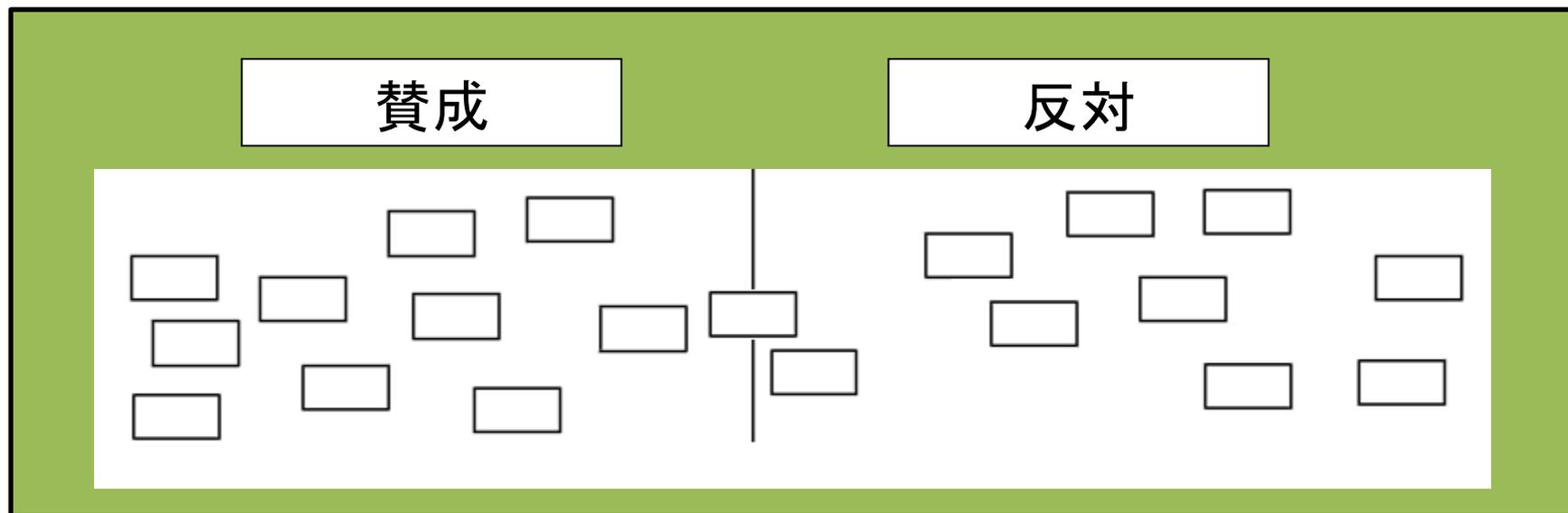
立場	長所	短所
日本全体	○労働力不足を補う ○経済が発展する	●完全失業率が上がる ●異文化問題が発生する
日本の企業	○優秀な人材を確保できる ○賃金を抑えられる	●労働環境作りにお金がかかる ●労働条件の改善が遅れる
日本人労働者	○異なる文化を知ることができる ○発想が豊かになる	●働く機会が減る



労働力を出稼ぎに出してしまう外国の損失にもなるんじゃないかな。

展開④ 話し合った後の考えをネームプレートで示す。

<話し合った後の考え>



様々な立場に立って考えると、ますます迷ってしまうわ。



日本全体の立場で考えても、長所と短所があって、簡単には決められないね。

展開⑤ 個人の考えをまとめる。

【まとめ（例）】

私は、初めは外国の人たちが入ってきてくれれば、企業にとっては安い賃金で雇えるのに、外国の賃金と比較すればよい給料がもらえるので、一石二鳥だと思った。でも、話し合いの中で、日本人の雇用が減ってしまうということが出て、それは、私たちの生活に直接打撃を与えてしまうことだと思い、最終的には「反対」意見に変わった。

反対にしたものの、迷いも残るわ。



これからも社会の在り方について考えていきたいな。

受講者の感想

- ・ 実際に世間で議論されていることで、生徒たちの必要感にも結び付きやすいと思った。対立と合意，効率と構成の視点をしっかりと示すと，自分の考えをもちやすいかなと感じた。
- ・ 様々な意見を整理することで，自分にはなかった視点に気付いたり，比較できるのはよいと思いました。反対の立場ですが長所もあるので，もう少し賛成に近くなりました。
- ・ 賛成，反対に加えて，様々な立場の長所，短所を生徒から出させて考察させることで，生徒の見方・考え方を働かせることにつながるなと感じました。この活動で，学習したことがより深まりのあるものになっていくと思います。
- ・ 長所と短所を考えた際，日本の社会の長所で「多様性のある社会」，短所で「言葉や文化の力で」とあって，同じ内容でも見方によって受け取り方が違うところが面白いと思った。多角的に言える事は，立場を定めることが大切だと実感できた。